

授業科目名	電子オルガンアンサンブルⅡ	担当形態	実習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	兼松 正直	単位	1	年次	2, 3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

クラシック音楽のアンサンブルを通して、演奏表現、スコアリーディング、編曲、電子オルガン演奏の応用力を身につける。また、アンサンブル指導実践を通して、アンサンブル全体を把握する能力を養う。

＝履修の条件と学習の方法＝

アンサンブルは一人が欠けてしまうと曲として成り立たないため、欠席・遅刻はしないように。演奏する為の準備（練習、楽譜の整理など）を怠らないこと。

＝授業の概要＝

アンサンブル指導の実践に向け、指導までの準備・指導法を学びます。

学生によるアンサンブル指導の実践では、学生は先生役・生徒役に分かれ、模擬授業を行います。先生役は選曲、譜面・音色データの制作、指導まで行い、アンサンブル全体を把握する能力を養います。

大編成のオーケストラ作品によるアンサンブルで、総まとめをします。

＝授業計画＝

- 1回 アンサンブル指導の実践に向けて1（編曲・アンサンブル譜について）
- 2回 アンサンブル指導の実践に向けて2（スコアリーディング）
- 3回 アンサンブル指導の実践に向けて3（指導法）
- 4回 アンサンブル指導の実践に向けて4（仕上げ）
- 5回 学生によるアンサンブル指導の実践1
- 6回 学生によるアンサンブル指導の実践2
- 7回 学生によるアンサンブル指導の実践3
- 8回 学生によるアンサンブル指導の実践4
- 9回 学生によるアンサンブル指導の実践5
- 10回 学生によるアンサンブル指導の実践6
- 11回 オーケストラ作品によるアンサンブル1
- 12回 オーケストラ作品によるアンサンブル2
- 13回 オーケストラ作品によるアンサンブル3
- 14回 オーケストラ作品によるアンサンブル4
- 15回 オーケストラ作品によるアンサンブル5

＝テキスト（必携）＝

授業内で指示する。

＝参考書・参考資料（必携）＝

=成績評価の方法と評価の基準=

授業内での積極性・協調性・演奏の準備・出席状況など、総合的に判断する。

=その他=